

石川県健康の森 中期経営目標
(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

平成6年に開園し、園内には、総合交流センター、オートキャンプ場、バーベキュー舎、ソフトボール場などのレクリエーション施設、森林科学館やノトキリシマ園、ツバキ園などの展示施設があり、林内には遊歩道も十分に整備されていることから気軽に森林浴や自然観察などを楽しむことができます。

平成12年、拠点施設として整備された総合交流センターでは、園内の総合案内のほか、パソコンや映像を使って地域の特産品やみどころ情報を提供するほか、押し花や草木染めなどの体験教室、キノコや山野草の観察会なども企画、開催しています。

2 施設の果たすべき役割

「健康の森」は、能登半島の北岸に位置する輪島市三井町地区に位置し、標高200～300mの丘陵地帯で、能登半島北部地域の玄関口となる地区に立地しており、能登地域における森林・自然観察、自然体験学習・教育等の拠点施設の一つとして、自然体感機能や自然学習・教育機能、レクリエーション機能等の複合的機能を持つ施設となっている。

森を基軸に人々が憩い、創造し、交流する地域づくりをめざそうとするものであり、具体的には、緑豊かな森林空間の創造やスポーツ・レクリエーション施設の充実、自然体験・ふるさと体験の場の創出を行うものである。

3 事業内容

(1) 森林・緑地の保全と景観保持

森林の自然植生、人工林、天然林や下層植生等の現存植生を保全管理するとともに、公園緑地の景観を保持する。

(2) 森林浴、やレクレーション活動施設の提供

遊歩道、広場等の森林浴やレクリエーションに適した施設を整備し、県民が気軽に森林の中で自然とふれあう機会を提供する。

(3) 野外教育活動施設の提供

野外で活動する機会が少なくなった子ども・青少年に対し、自然観察や体験学習施設を整備し野外学習の場を提供する。

(4) 交流活動の場の提供

公園内で開催されるイベントの参加などを通じた交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理体制について

- ・健康の森では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成27年度から平成29年度までは、「株式会社上野組」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。
- ・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・目視等による施設、整備、遊具等の巡回点検を行い、常に安全かつ良好な状態を保持し、異常を発見した場合は、速やかに適切な処置を行っていきます。
- ・芝生広場の管理、遊歩道等の管理、林道等の管理などの維持管理については計画的かつ状況に応じて実施し、良好な環境づくりに努めていきます。
- ・現在指定管理者において、地域の自然、環境を利用し、魅力あるイベントを企画し実施しているが利用者の意見等を取り入れより良いイベントを実施してまいります。
- ・健康の森で実施される各イベント等へ支援協力を行い、多くの方が利用できるよう努めていきます。
- ・広報活動として、ホームページの開設等を活用した情報発信を行っており、今後とも四季に応じた情報発信の充実にも努めていきます。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行ってまいります。
- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者へ提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。
- ・指定管理者では管理技術の更新を行います。

5 中期経営目標

(1)中期経営目標(指定管理者が実現すべき目標)

- ① 利用者数を3年間で3%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2)測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
① 利用者数		27,853人	28,690人
② 利用者アンケート における満足度	利用者サービス	100%	95%以上
	施設の維持・管理	99.0%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・ホームページをより良くし日々の「健康の森」の様子がわかるようにし、かつ予約状況をこまめに更新しお客様に情報発信します。
- ・遊歩道を利用しノルディックウォーキングや森の中のヨガなどで自然に親しんでもらうイベントの企画を行います。
- ・キノコの植菌体験や椎茸の収穫等、里山体験イベントを行います。
- ・新たにナイトキャンドルなど宿泊施設を利用したイベントを行います。
- ・宿泊施設をスポーツ合宿の利用に向け、スポーツ団体や学校に利用を働きかけます。
- ・体験教室の日程が決まり次第、園内に張り紙したり新聞広告に出すなどします。
- ・地元学校、各種団体からのボランティア活動は協議しながら受け入れます。
- ・宿泊施設の各部屋にアンケートを置きお客様の意見・要望を聞きます。
- ・案内看板を点検し、利用者の立場にたち設置場所の確認、見直しを行います。
- ・施設、遊具を定期的に点検し、安全に努めます。
- ・ベンチや遊具等を増設し、利用者が快適に利用できる環境の整備に努めます。
- ・職員の育成のために接待マナーなどの講習に参加する計画をたてます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・建築物は巡回点検を実施し、破損箇所等の小規模修繕や交換補充を適切に行います。
- ・消防設備は専門家に委託し適切に行います。
- ・受付業務は全職員が対応できるようにします。

参考資料(施設の利用状況など)

(1) 利用指標(利用人数、稼働率などの状況) (人)

項目	H23	H24	H25
利用者数	26,169	22,230	27,853

(2) 使用料の収入実績 (千円)

項目	H23	H24	H25
施設利用収入	4,713	4,718	5,468